【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公開番号】特開2012-161005(P2012-161005A)
【公開日】平成24年8月23日(2012.8.23)
【年通号数】公開・登録公報2012-033
【出願番号】特願2011-20588(P2011-20588)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｊ　11/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｊ　11/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成25年6月12日(2013.6.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
複数のキャリアを使用して親機と子機間でデータ通信を行うマルチキャリア有線通信装置であって、
前記親機は、データおよび該データの先頭位置を示す同期信号からなる送信信号Ｓ１を子機側受信回路に送信する親機側送信回路と、子機側送信回路から送信される送信信号Ｓ３を受信信号Ｓ４として受信する親機側受信回路を有し、
前記親機側送信回路は、複数のキャリアに分散されたデータをキャリア毎に出力調整する出力調整手段、前記出力調整手段から出力するキャリア毎に出力調整されたデータを合成する出力合成手段およびキャリア選択・キャリア毎の出力決定手段を設けており、
前記子機は、前記親機側送信回路が送信した送信信号Ｓ１を受信信号Ｓ２として受信する子機側受信回路と、前記親機に送信する送信信号Ｓ３を前記親機側受信回路に送信する子機側送信回路を有し、
前記親機側受信回路は、前記親機側送信回路から送信した前記同期信号と前記子機側受信回路が受信する前記受信信号Ｓ４との時間差に基づいて遅延時間を検出する遅延検出手段を備え、
前記キャリア選択・キャリア毎の出力決定手段は、前記遅延検出手段が検出する前記遅延時間から算出される伝送距離に応じて各キャリアで送信する信号の電力量を調整することを特徴とするマルチキャリア有線通信装置。